



Global LEAP 参加学生

原口晃一さん（法学部国際企業関係法学科 3 年：参加当時）

ー加速するアジアの波に負けない、視野と行動力を身に付けるー

伸び盛りの国を、肌で感じるチャンスだと思った

参加を決意した一番の理由は、アジアについて実践的に学べるチャンスだと感じたからです。特にカンボジア留学とインターンシップに惹かれました。カンボジアという伸び盛りの国を肌でリアルに感じる経験は、私の知識見聞を広げるだけでなく、私の考え方に新たな視点を与えてくれると考えました。

各界のスペシャリストが、自分のための特別講義を実施

Global LEAP の最大の特徴は「学生主導のプログラム」という点だと思います。留学前には、環境影響評価に携わる欧州復興開発銀行（EBRD）の方、医療系政策シンクタンクの方など様々なフィールドで活躍されているスペシャリストが講義を行ってくれました。そして全ての講師が講義の際には僕の興味関心を聞き、必ず授業に反映してくれました。そのため、一見まったく私の興味関心と違う話にみえても、実際には非常に重要な繋がりと気づけ、物の見方がかなり広がりました。

留学に対する不安は、自ら行動を起こすことで解消

カンボジア留学に関してはかなり不安でした。とにかく情報が少なく、ビザや住居などをどうすればいいのかわかりませんでした。そこで、卒業生でカンボジアにいらっしゃる方などに連絡を取ることや、カンボジアをテーマにしたフェスティバルに出向き、出展されている方たちに情報提供をお願いして回ることで少しずつ情報を集めて、不安を解消していきました。

後期9月からは王立プノンペン大学に留学し、平日は大学の授業に参加します。授業はグループワークが多いため、授業後にクラスメートと集まって翌日の準備などを行いました。王立プノンペン大学は学部ごとにサッカー部を持っており、現在 Department of International Studies のサッカー部の一員としてプレーしました。ほかにも課外活動としてフィールドワークや本正課科目以外のインターンシップ活動も行ないました。

知識を得るだけではない。意識改革を起こさせた Global LEAP の活動

Global LEAP と専門インターンシップ活動では、もちろん、いろいろな知識を得たという成長もありますが、一番の成長は僕の態度の変化だと思います。特に自ら行動を起こすようになったことは大きく成長した点だと思います。以前は受け身な態度で学生生活を送っていました。

しかし Global LEAP の全活動を通して、自分から変化を起こすために「興味があることにはチャレンジしよう!」と意識が変わっていきました。実際に、講義してくださった方にインターンシップを申し込んだり、アカデミックなスキル向上のため、英語の論文の書き方を教えて欲しいと教授に直談判しに行ったりと、今までに見られなかった変化が私の中に現れました。

ぜひ勇気を出して、一歩前へ踏み出してみてください!!
きっと、大きな成長を得られると思います!!